

六日町(現南魚沼市)に医師平賀洗一(1902-1980)の次男として生まれた平賀壯太(1936-)は、10代の頃、絵の道と科学の道の選択に迷いますが、父洗一から画家になるならピカソのような独創的な大芸術家になれと言われ、前者をあきらめ、後者を選びます。分子生物学の分野で世界的に注目される業績をあげ、熊本大学、京都大学での研究活動の後、70歳を過ぎて絵画制作を本格的に再開。科学者の余技とは思われぬ正確な描写力の上に、大胆、明快、ユーモアに富んだ想像力を飛躍させた作品群を、父洗一の絵画・映像作品とともに紹介します。

六日町には、平賀父子ばかりでなく、近代初頭から戦後にいたるまで活発な文化的活動がありました。明治期に地芝居を撮影した今成無事平(1837-1881)、戦中戦後六日町に教師として赴任し、平賀父子とも親しく交流した画家の長谷川正巳(1914-2003)、戦後六日町に疎開していた版画家上野誠(1909-1980)、第四銀行六日町支店長を勤め、洗一とも交友を得、退職後新発田で画廊を開設した田部直枝(1905-2003)ら、六日町と平賀父子周辺の人々を紹介し、一地方都市における生きた文化の姿をもあわせて描きます。



平賀壯太と父・平賀洗一
そして南魚沼・六日町の文化の一断面

左:平賀壯太「アンナ」2009年 油彩、キャンバス 53.0×45.5cm
下:平賀洗一「海女へぐら島」より 1937年 映像作品



2011年7月23日(土)-8月28日(日)9:00-21:00 観覧無料 月曜休館 会場:砂丘館ギャラリー(蔵)+一階全室

主催:砂丘館 協力:新潟大学人文学部「地域映像アーカイブ」・財団法人池田記念美術館

砂丘館





砂丘館



会期中の催し

平賀壮太講演会「父・平賀洗一を語る」

8月7日(日) - 14:00~15:30

会場 / 砂丘館

参加料 / 500円

7月の自主事業

季節のしつらい展示 二階座敷 観覧無料

「お盆」 7月26日(火) - 8月21日(日)

入館無料 / 9:00~21:00 休館日 / 月曜日

〒951-8104 新潟市中央区西大畑町5218-1 tel./fax.025-222-2676 sakyukan@bz03.plala.or.jp

指定管理者: 新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体

私たちは砂丘館の
自主事業を応援しています。

新潟日産自動車株式会社

雪國ありれ株式会社

NSGグループ

加島屋

株式会社ナレッジライフ

新潟ビルサービス

創業明治13年
丸屋本店

郷土の文化に親しむ会

長谷川真智子

吉田 綾子 (新潟市連合婦人会)